

輸送動向について（7月分）

平成26年8月

1. 輸送概況

今月は、初旬から中旬にかけて九州・中国地方での大雨および台風8号接近に伴う影響、さらに台風8号による中央西線不通の影響があり、月全体では高速貨247本、専貨129本が運休となった（前年は高速貨165本、専貨4本が運休）。

コンテナ貨物は、円安による堅調な国内生産とトラック不足による鉄道シフト等で好調な紙・パルプ、民間流通米が増送となった農産品・青果物、鉄道シフト等で好調な菓子を含む食料工業品等が前年を上回ったが、自動車部品が海外調達および現地調達化の進展、エコ関連物資が災害廃棄物輸送の終了により、それぞれ前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比101.2%となった。

車扱貨物は、石油が価格高騰による需要低迷や中央西線不通の影響により減送となったのをはじめ、セメント・石灰石も前年を下回り、車扱貨物全体では前年比90.0%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,807	1,785	101.2%	6,996	6,830	102.4%
車 扱	650	722	90.0%	2,443	2,670	91.5%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	125	113	12	110.8%
	化学工業品	177	170	7	104.5%
	化学薬品	126	122	4	102.7%
	食料工業品	320	311	9	102.9%
	紙・パルプ	272	251	21	108.3%
	他工業品	136	144	-8	94.5%
	積合せ貨物	190	185	5	102.4%
	自動車部品	67	88	-21	76.7%
	家電・情報機器	42	42	0	98.4%
	エコ関連物資	33	43	-10	77.3%
	その他	319	316	3	100.9%
	コンテナ計	1,807	1,785	22	101.2%
車 扱	石油	409	458	-49	89.2%
	セメント・石灰石	125	134	-9	92.6%
	車 両	65	73	-8	88.8%
	その他	52	56	-4	92.4%
	車扱計	650	722	-72	90.0%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）